

眼科専門医プログラム

定員
4名



プログラム責任者

眼科学講座
石川 誠 准教授

専門研修
担当者
連絡先
石川 誠 准教授
TEL.018-884-6167 FAX.018-836-2621
E-mail mako@med.akita-u.ac.jp
HP <http://www.med.akita-u.ac.jp/~ganka/>



秋田大学医学部附属病院

眼科専門医プログラム

プログラムの特徴

眼科疾患は小児から高齢者まで幅広い年齢層が対象で、内科的治療だけでなく外科的治療も必要とし、幅広い医療技能の習得が求められています。秋田大学眼科専門研修プログラムでは、以下の眼科医の育成を目指します。

1. 一般眼科学に精通し、専門性の高い眼科治療にも対応できる眼科医
2. 一般診療所の医師のみならず総合病院の眼科医としてやっていけるだけの必要かつ十分な技術を身につけ、将来地域で活躍できる眼科医
3. 診療技能のみならず、学会発表や論文作成を通じて科学的に思考できる眼科医

プログラムの説明

秋田大学医学部附属病院では、幅広い分野の紹介患者があり、平成29年の手術件数は、網膜硝子体471件、白内障330件、緑内障100件を含め、眼科専門医が研修すべき、ほぼすべての手術を施行しています。

入院手術日は週に2日(火曜日と木曜日)あり、それに伴って、主治医グループは火曜グループと木曜グループにわかれ、各グループをローテーションします。外来診療は、手術日以外の月・水・金曜日を中心として行います。ロービジョン、遺伝相談等は外来でおこない、プログラム統括責任者が指導します。

各プログラムの疾患の基本について研修を行い、基本的検査、診断技術および処置を習得し、それぞれのプログラムの到達目標を目指します。毎週行っている症例カンファレンスにも参加します。周産母子センター、外来化学療法室等を備えた医師臨床研修指定施設なので、他科との連携委員会を中心に、あらゆる全身疾患に関わる眼症状も研修します。また、学会報告や論文作成の機会も豊富にあります。当院での研修期間中は、こうした活動の機会を得やすいよう配慮しています。

取得までのキャリアパス

医学部卒業後年数	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目
Aコース (専門医+学位コース)	卒業臨床研修	大学院/関連病院(研修施設)	一般眼科修練	眼科専門修練			眼科専門医取得	学位取得
Bコース (専門医+学位コース)	卒業臨床研修	大学院(社会人大学院を含む)				学位取得	大学院 研修病院 眼科専門医取得	
Cコース (専門医+学位コース)	卒業臨床研修	大学院 関連病院(研修施設)	大学院(社会人大学院を含む)				眼科専門医取得	学位取得
		大学院	眼科領域研修委員会に申請を行い、認められれば臨床実績を算定できる。					

専門医、指導医、出身地、施設認定、関連施設など

■専門研修基幹施設:秋田大学医学部附属病院

- (年間で眼手術945件、外眼手術44件、レーザー手術199件)
 プログラム統括責任者:吉富 健志(教授、診療科長)
 責任者:石川 誠(准教授、診療副科長)
 指導医管理責任者:吉富 健志(教授、診療科長)
 副責任者:石川 誠(准教授、他科診療連携)
 指導医:澤田 有(講師)(緑内障)
 齋藤 昌晃(講師)(網膜硝子体、ぶどう膜)
 専門医:渡辺 駿(助教)
 太田 悠介(助教)
 早川 真弘(医員)
 齊藤 裕輔(医員)
 西山 俊吾(医員)

■専門研修連携施設

- [Aグループ] 地域医療を担う病院**
 指導管理責任者1名が配置されており、非常勤医師2名、スタッフ4名
 雄勝中央病院 指導管理責任者:後藤 豊(眼科専門医)
 大曲厚生医療センター 指導管理責任者:高橋 永幸(眼科専門医)
 平鹿総合病院 指導管理責任者:渡部 広史(眼科専門医)
- [Bグループ] 地域の中核病院**
 指導管理責任者1名が配置されており、スタッフ4名以上
 中通総合病院 指導管理責任者 眼科専門医:羽瀧 由紀子
 秋田赤十字病院 指導管理責任者 眼科専門医:春野 功
 秋田厚生医療センター 指導管理責任者 眼科専門医:早川 宏一
- 関連病院
 町立羽後病院、市立横手病院、由利組合総合病院、能代厚生医療センター、男鹿みさと市民病院、湖東厚生病院、南秋田眼科医院、藤原記念病院、秋田県立医療療育センター、秋田県立リハビリテーション・精神医療センター、市立秋田総合病院

